



【校長より】

寒さ厳しい2月、春の到来が待ち遠しいこの頃です。

2月4日は「立春」です。暦の上では春ということになります。前日の2月3日は「季節を分ける」という意味で「節分」です。この節分の日に、「福は内、鬼は外」と、豆まきをされる御家庭も多いのではないのでしょうか。

もともとは、季節の変わり目に邪気（鬼）が生じるという意味で、鬼をはらうために豆まきが始まり、「豆（穀物）には生命力と魔除けの力が備わっていて、鬼に豆をぶつけて邪気を追い払い、1年の無病息災を願う」のだそうです。

ところで、「心を鬼にする」という言葉があります。

ここ最近では家庭でも学校でも、「誉めて育てる」、「子どもの気持ちにそって話を聞く」等どちらかというところ「心を鬼にして」厳しく接することは少なくなったように感じます。

「心を鬼にする」とは「相手のために思い、あえて厳しい態度をとる」という意味です。

ここで注意したいのは、「相手のために思い」という部分です。平気で辛く当たっているのではなく、「相手のために」を思って心を痛めながらも厳しくしている様子です。そうでなければ「心を鬼にする」ではなく、単なる「鬼」です。

今年度もあと2か月となりました。義務教育9年間のうち6年間を過ごす「小学校での育ち」は大変重要です。ですから、学校では毅然とした態度で指導しなければならないことも多々あります。「誉めて励まし」「話をよく聞いて」そして「心に寄り添って」育てていくことを原則としますが、必要な時には「心を鬼にして」厳しい指導も行っています。

これまでの児童一人ひとりの育ちを振り返り、邪気を振り払って進級・進学できるよう教職員一同がんばります。御家庭でも御理解・御協力の程お願いいたします。

校長 中田邦明

【学校評価アンケート】

先日、御依頼いたしました学校評価アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。皆様からいただいた回答をこの後集計し、児童及び本教職員員の自己評価と併せて、次号、3月の学校だよりにて御報告させていただきます。

【3年校外学習】

1月27日（金）、3年生は校外学習で市川市にある現代産業科学館に行きました。

社会科の学習の一環として、これまでの産業の移り変わりについて学び、理科の学習の一環としては、シャボン玉づくりや竜巻・雷の発生の仕組み等について学びました。

また、グループ活動を通して声をかけ合いながら、協力して見学・体験したりする大切さも、たくさん学んできました。

帰校した時は、とても寒い時間帯でしたが、たくさん学んできた子ども達みんなの表情は、ぼかぼか笑顔に感じられました。

【夢の教室】

1月24日（火）5年生は、市教育委員会生涯学習課と市青少年相談員連絡協議会の御協力により、日本サッカー協会が企画・運営している「夢の教室」に参加しました。

今回はビーチサッカーワールドカップで活躍された茂伶羅オズさんとJリーグや海外のクラブチームで活躍された川邊隆弥さんが、「夢先生」として、5年生の子ども達とオンラインによる交流をしました。

「夢はあきらめない」「挫折しそうになったとき、周りの方々の支えがあり夢を追い続けることができた」などのこれまでの御経験を基に、貴重なお話をいただきました。

参加した5年生の子ども達の、夢を実現させるための大きな学びの場となりました。

入賞者の紹介

【第75回 千葉県小中高校書き初め展覧会】

書星会賞	1年	1名
	2年	1名
	3年	1名
	4年	3名
	5年	3名
	6年	3名

【山武郡市小中学校書き初め展】

最優秀賞	4年	1名
優秀賞	2年	1名
	4年	1名
優良賞	1年	1名
	3年	1名
	6年	1名